

会 議 記 録		記録者	担当チーム
会 議 名	令和5年度未来の養父市を語るタウンミーティング		
期 日	令和5年7月3日（月） 午後7時30分～午後9時20分		
場 所	広谷ふれあいセンター		
出席者	校区民	20人（うち女性1人）、オンライン1人	
	市幹部	広瀬市長、山下副市長、坂本危機管理監、井上部長、柳川部長、雲田部長、小井塚部長	
	特区政策課	栗田主幹、渡邊主査、雲田主事	
	担当チーム（市）	岸課長、廣瀬主幹、羽瀧副主幹、長谷川主査	
<p>1 開 会</p> <p>2 地域代表あいさつ（広谷校区自治協議会会長 圓山 満 氏）</p> <p>3 市長あいさつ</p> <p>4 各部局の経営計画について</p> <p>5 地域課題に関する意見交換</p> <p>【 ██████████ 】</p> <p>昨年、小さい子が安全に遊ぶ場所がないということで、公園の整備を市へ要望している。</p> <p>P T A会長からも要望しており、土地利用未来課からの回答は、「現時点では、市として広谷区内に公園を整備する計画はございません。公園を整備するには、一定規模の用地確保や、維持運営等の協議が必要になり、今後市としても、少子化が著しく進行していることから、子供たちの将来を見据え、事業化に向けた可能性を検討して参ります。」との回答を受けている。検討はどの辺りまで進んでいるか。</p> <p>【柳川部長】</p> <p>地域には、小学校などもあるので、既施設を代替施設として有効活用していただければと思っている。また、各地区に公園を整備することは現実的ではないと考える。市全体や地域のバランス、土地の確保や整備費など総合的に考えて、対応していきたいと思っている。</p> <p>【 ██████████ 】</p> <p>小学校などは小学生以上も遊んでおり、区として必要なのは、未就学児の公園である。この人口減少の中、広谷区は、子供たちの人口が増えている。今後、広谷区が公園整備の実現に向けて、どのように動いていったらいいか教えていただきたい。</p> <p>【柳川部長】</p> <p>区として、協力いただきたいことは何かのことですが、公園整備には一定の用地が必要となります。この用地を区が用意していただき、市に提供いただけるような努力などがあれば、市としても前向きな検討がしやすいのではないかと思います。</p> <p>【 ██████████ 】</p> <p>頑張ります。</p>			

【】

昨年度、広谷自治協議会の地域づくり計画に携わった。人口推計 2020 年から 2040 年の間に、人口が半分になってしまう自治協が 9 つある。広谷区の中でも、小さな区では、区長も設けられないところがある。この自治協の制度ができてから、年数経過や社会情勢などで生活形態が変わっている。小規模な集落に対し、今後どのような、支援などができるか、地域、行政と自治協の関係者が集まり考える場など早急な支援検討体制、できることはしていくというスタンスが必要と考えている。

【市長】

話があるように急速に進んでいる。特に少子化が著しい。その中で市は少子化解消に向けて各部で取り組んでいる。市民の皆さんも同じ思いで、行政と一体的に進めていく必要がある。区が存続できるようにサポートするため、自治協と協議する場の持たせていただきたいと考えている。

【】

3 点質問したい。

【 1 点目】

昨年のタウンミーティングで、企業誘致を 2 件と目標設定されていたが、実現できたか。また、それによって、何人雇用されたか。雇用の場が市の存亡の課題と思われる。若者が働く場がないから若者が帰ってこれないのではないか。

【市長】

働く場がないという意見はよく聞くが、働く場はある。ただし、若者たちの志向に合った仕事があるかどうかは問題である。また、逆に企業誘致する際に、企業の方から労働力の確保が難しいとの話もある。難しいところもあるが、企業誘致はかなり努力をしている。

【柳川部長】

市の奨励制度を使った企業のみ把握であるが、大屋のウイスキー蒸留所と道の駅但馬蔵横のマリオットホテルが進出しているので、目標達成はしている。ウイスキー蒸留所の雇用は 7～8 名程度、ホテルは把握できていない。

【 2 点目】

昨年度のタウンミーティングでも話をしたが、まちづくり計画で日本一農業のしやすいまちづくりとしている。人口減の中で、農業者も減る。今の農業者も高齢者であり、後継者がいない。15 年後には、主な現農業者が耕作できなくなる。2050 年には 2 %程度になっているのでは。この中でどう日本一農業しやすいまちづくりをしていくのか。

【市長】

難しく、非常に根深い課題である。今それぞれの地域で自分たちの農地をしっかりと考えてもらうため、地域計画をお願いしている。行政と地域で一緒に考えていければと考えている。

【】

地域内でも意見がバラバラでまとまらない。また、課題ができれば、農業をやめるとの意見もある。水路修繕など補助額が少なくて思ったとおりできないこともある。状況を訴えているけど、改善されないの、どうしようもないのかなと感じている。

【 3点目】

今の教育課題について、どのように考えているか。

【雲田部長】

養父市は広く、小規模学校も増えてきている。その中で学校では学力をつけることが第1と思っている。また、生きる力ということで、社会にでて通用する力を伸ばすことが必要と考えている。全国的に進められているGIGAスクール構想にも取り組んでいるところである。

【】

正解だと思う。一番は学力の向上と思われる。しかし、草庵君の日以外は勉強しない子がいたり、教科書の置き勉など、考えられないことがなされている。自ら学ぶ精神が必要では。どのように指導しているのかなと思っている。また、他の地方では、同じような環境下で学力が高いところがある。養父市もできないのか。学力向上にしっかり目を向けて、その成果を発表してほしい。

【市長】

教育委員会に伝える。

【】

上野地区の圃場整備ができていない。

メタバース、仮想空間をもっと利用すればと考える。メタバース内での夢も現実に実現できるようになるかもしれない。

【市長】

上野区の圃場整備もできればやりたい。今、大塚区と九鹿区で圃場整備に取り組んでいる。将来の農地の活用を考えたとき、圃場整備は必要と考えている。

メタバース内に市役所を設置、住民登録の実施し、現在7,500人程度登録されている。目標は100万人を目指している。

【】

ドロッカーを学んだ者、経営視点からみて、各部局の経営計画一覧の書き方がおかしい。書き方も内容も全体的な見直しが必要では。

【市長】

今後、経営計画を作るときに活かさせていただきたいと考えている。今後は経営の感覚をしっかり入れていくことが必要と考えている。職員ひとりひとりが経営感覚を持つよう研修などを行っているが、なかなか浸透が難しい。お気づきのことがあれば、今後もお願いしたい。

【XXXXXXXXXX】

人口減少は、子供だけが対象ではなく、大人でも人口減少が減らせると考えている。今回、定年後にUターンした友人が参加してくれている。今の養父市をどのように感じているか友人の意見をききたい。

【XXXXXXXXXX】

市内で、広谷だけが、人口が増えていると聞いている。ひと月だけ過ごしているが、日常生活に必要な施設は、地域内にあり、ある程度、歳を取っても過ごしていけると感じている。そういう中で、広谷は成功例なのかなと思っている。この成功例をほかの地域にも波及させることができればとも思っている。

【市長】

養父市でも人口増に向けて取り組んでいるところである。今後も移住定住を進めるうえで、参考になる意見をお聞きできればと考えている。